

トイレのメンテナンス(2)

トイレが故障しても修理法をマスターして、落ち着いて対処しましょう!!

●レバーが動かない

レバーをまわした時に もどらなくなりのは、さびや汚れによるものです。

止水栓をしめて、レバーをはずし、芯棒の手入れをしましょう。

使用するサンドペーパーは、600番くらいが適当ですが、ワイヤーブラシを使ってもよいでしょう。

これで直らなければ、新しいレバーと交換します。

作業の際には、レバーがついていた向きを 必ず覚えておき、元に戻すときに まちがえないように注意しましょう。



くさりはずしてオーバーフロー管にかけ、レバーのネジをはずします。



芯棒を取り出してサンドペーパーで磨き、潤滑剤をスプレーします。

●排水パイプの水もれ

タンクと便器が一体化した密結型以外のタイプでは、このふたつをつなぐ 排水パイプの接合部から水漏れが生じることがあります。ナットの内側のパッキンが老化したためだと考えられます。

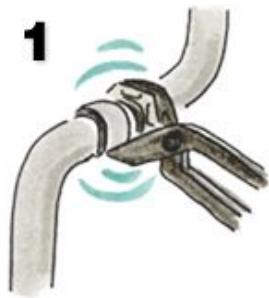


ところが、このパッキンを交換することは 容易ではありません。

ナットをはずしても、パイプが抜けないからです。



市販のひもシールを利用して、パッキンを補強するのが手軽です。・・・これで水漏れはとまります。



排水パイプのナットは、ウォーターポンププライヤーなどを使ってはずし、脇にどけておきます。



しっかりと ひもシールを巻きつけ、水がもれる すき間を埋めるように 押し込み、ナットを戻します。

●水洗トイレのつまり

便器に水がたまって 流れなくなったら、それ以上 水を流さず、まずはトイレ用の吸引カップを使ってみましょう。

しっかりと吸いつかせ、勢いよく引き上げるのがコツです。
何度かくりかえしているうちに、ほとんどのケースでは、水圧によって詰まりが解消されます。



●効果がみられないときは、排水管専用ブラシを利用する方法もあります。
ワイヤーの先にブラシがついているもので、奥のほうまで送り込み、詰まっているものをかきだせるようになっています。

●状況によっては、トイレの詰まりを溶かす薬品をつかってみてもよいでしょう。
便器に水がたまっているときは、使用前に灯油のポンプなどでくみ出しておくとも薬品の効き目が高まります。



バケツなどに水をくんで少しずつ便器に流し入れ、詰まりが解消したか確かめてみましょう・・・。

手洗いつきタンクのはずし方

手洗いつきタンクでは、手洗い管はビニールの蛇腹管をとおしてボールタップと接続されています。

ふたをはずすときは、片手でふたを持ち上げ、蛇腹管の上のほうをまわしながら引っ張り、手洗い管からはずします。

蛇腹管なしでボールタップがはめこまれているタンクもあります。



補助水管の役目

タンクをあけてみると、ボールタップとオーバーフロー管がゴム管で橋渡しされていることがあります。

これは 補助水管といって、便器に水をより多く流し、水たまりを大きくする役目があります。

修理のさいに はずれたら、必ず オーバーフロー管の内側と取り付けましょう。

